



重要文化財

披雲閣

平成二十四年七月九日指定

江戸時代にもこの場所に、今の二倍の規模で政務が行われる場所、藩主が生活する場所として、「披雲閣」という名前の御殿がありました。披雲閣は、明治維新後、老朽化を理由に取り壊されましたが、高松松平家の十二代当主頼寿伯爵が大正三年に再建に着手し、三年余りの歳月をかけ大正六年（一九一七年）に完成したものです。当時の新聞記事には「壮麗目を奪う」「瀬戸内海の一大建造物」といった見出しが躍りました。この建物は松平家の別邸として建てられました。一方、香川を訪れる賓客をもてなす迎賓館としての役割も持ちあわせていました。建築的特色としては、伝統を踏まえた意匠は近世以来の正統的書院造としていささかの破綻もなく、伝統技術と洋風技術が見事に融合された構造となっています。さらに披雲閣は、規模も大きく、一部改変はあるものの保存状態も良く当時の様相を伝える非常に高い価値を有するものです。

名勝

披雲閣庭園

平成二十五年十月十七日指定

披雲閣庭園は、高松藩主であった高松松平家によってかつての居城であった高松城三の丸に建築された披雲閣に伴う庭園です。大正三年（一九一四年）に東京の庭師大胡勘蔵によって造られました。中央を流れる約一五〇mに及ぶ枯川の周辺には景石や石灯籠などが巧みに配置され、特に大書院の横に置かれた銀閣寺型水鉢や沓脱ぎ石、飛石の踏分石等は非常に大きく、大きな建物にふさわしい庭園となっています。樹木はマツやウバメガシなど海浜に適した植物を中心に約五十種類が植栽されています。披雲閣の部屋には植栽された樹木にちなんだ名称がつけられるなど、披雲閣と一体化した庭園といえます。庭の一部に江戸時代に同地にあった御殿に伴う庭も抱合し、残されている点も貴重で、旧大名家が近代になって自城に作庭した例は全国的にも少なくその代表的事例ともいえ、近代の庭園としては県内でも最大のものであり、その意匠も優れています。

18

秋の夜 披雲閣のあかりで ごゆるりと

映画「REBIRTH 高松城を築城せよ！！」主題歌「Kizuki」も披露

レインブック/ボーカル:山本容子

2000年6月結成、古きよき日本の歌・童謡のエッセンスをリアルタイムに投影した懐かしい響、心に滲みる和み歌が魅力の『レインブック』
2008年3月、テイテウエンタテインメントより、メジャーデビュー。デビューシングル「千本桜」から「空の華」「秋桜～届かない手紙～」 「雪あかり」と四季の歌をリリースし、2009年3月には、念願のフルオリジナルアルバム「花水木」が完成
2010年2月、大好きなおとうさん、大切なおかあさんへの想いをいっぱい詰め込んだレインブック至極の愛の歌！「お父さん」を5月には、シリーズ3作目となる「童謡の風景3・みんなで歌おう」をリリースするなど音楽を大切に作る大人たちに美しく澄み切った歌声とゆっくりゆったりなサウンドで日本の四季と日本の心を届けます
2012年 一般社団法人 日本歌手協会 最優秀新人賞受賞
※2022年8月、玉藻公園オリジナル映画「REBIRTH高松城を築城せよ！！」の主題歌「Kizuki」とナレーションを担当



☆MC：桂こけ枝&筒井智子

☆サポートメンバー「ブックスタンド」ピアノ&ギター



ピアノ：田中どぼん俊光

長野県松本市出身。
長野県松本市出身。作編曲、ピアニスト、音楽プロデューサー。慶応大学在籍中よりSony Musicでバックミュージシャンを経験し、数々のアーティストのレコーディングやライブサポートを行っている。またアニメ、舞台の劇伴やゲームミュージック等も手がけており、制作面でも幅広く活動中。テレビ朝日系列『ANNヘッドラインニュース』『じゅん散歩』、映画『恋恋豆花』（2020年公開）など。



ギター：村山 遼

MI東京校に入学し、藤岡幹大に師事。
卒業後、同校講師に就任。ギタリストとしてライブやレコーディングへの参加。自身はシンガーソングライターとして演奏や楽曲提供などマルチに活動している。月2回、都内でセッションも行なっている。参加アーティストにkoma'n/ROOT FIVE/ジャニーズWEST/26時のマスカレード/レインブック/リリィ、さよなら/THE IDOLM@STER sideM...etc

■FACEBOOK <https://www.facebook.com/yoko.yamamoto.16547>

■INSTAGRAM <https://www.instagram.com/yoko.yamamoto.124/>

■Ameba「山本容子のゆったり日記」<http://ameblo.jp/yoko-yamamoto-124/>